

地下水浄化に係る中間評価に基づく追加対策工事の状況

1. 追加対策工事の内容

工事内容	仕様			
	口径	深さ	横ボーリング	設置箇所
集水井戸				
CW-1	3.5 m	8.5 m	35~70 m (5本)	第一帯水層対象：県境部に設置
CW-2	3.5 m	18.0 m	30~60 m (6本)	第二帯水層対象：中央部に設置
CW-3	3.5 m	14.0 m	50~60 m (6本+追加4本)	第二帯水層対象：下流部に設置
注水井戸	新規 10 箇所 既設揚水井戸改造 5 箇所 (DW-9, 12, 13, 19, SW-28)			
貯留水配水管	L=731 m 注水井戸への配水用			
浸透枘	1 箇所 (10 m×10 m×深さ 4.0 m) 県境部に設置			
掘削土壌仮置場	2 箇所 (470 m ² 及び 240 m ²) 集水井戸掘削に伴い発生した土砂の仮置場所			

集水井戸は施工完了後、順次地下水の揚水を開始しており、今後は揚水量及び1,4-ジオキサン濃度を定期的に把握し、地下水浄化を適切に実施していく。

2. 現在の稼働状況

(1) 集水井戸の集水量及び1,4-ジオキサン濃度（詳細は別表参照）

ア CW-1（第一帯水層県境部）

横ボーリング孔からの合計集水量 11.15 m³/日、底部の合流水量は 25.23 m³/日であり、中間評価における追加揚水量 6.8 ~ 15.5 m³/日を上回って集水できている。

また、1,4-ジオキサン濃度は、横ボーリング孔は 0.19 ~ 1.5 mg/L、底部は 0.51 mg/L であり、中間評価における想定濃度 0.32 mg/L と比較して高い濃度となっている。

(参考) 1,4-ジオキサン回収量：12.9 g/日（計画量：2.2 ~ 5.0 g/日）

イ CW-2 及び CW-3（第二帯水層高濃度エリア）

横ボーリング孔からの合計集水量 74.40 (27.90 及び 46.50) m³/日、底部の合流水量は 67.50 (16.36 及び 51.14) m³/日であり、中間評価における追加揚水量 59.9 m³/日を上回って集水できている。

また、1,4-ジオキサン濃度は、横ボーリング孔は 0.16 ~ 11 mg/L、底部は 4.6 及び 0.82 mg/L（加重平均で 1.7 mg/L）であり、中間評価における想定濃度 1.3 mg/L と比較して高い濃度となっている。

(参考) 1,4-ジオキサン回収量：117.2 g/日（計画量：77.9 g/日）

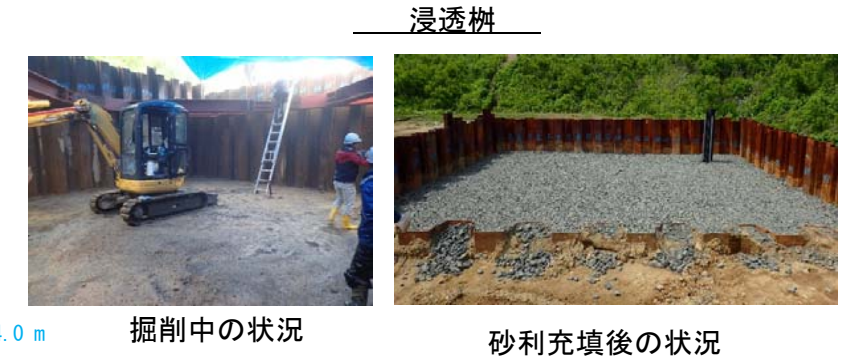
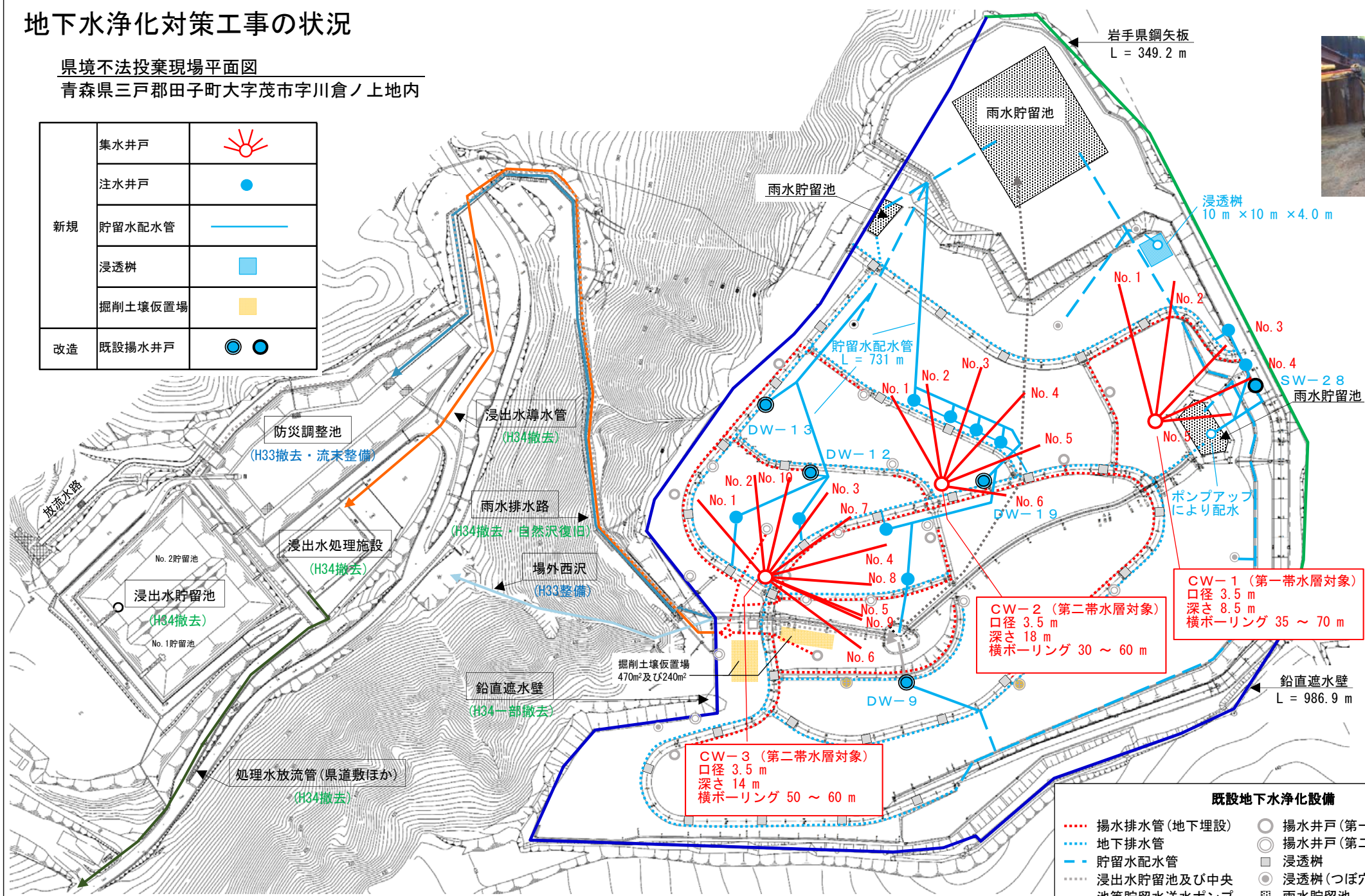
(2) 注水井戸及び浸透枘への配水状況

現在は浸出水処理施設への負荷を考慮し配水を行っていないが、今後、集水井戸からの集水量、浸出水処理施設への負荷を勘案した上で効果的に配水し、地下水の涵養を図る。

地下水浄化対策工事の状況

県境不法投棄現場平面図
青森県三戸郡田子町大字茂市字川倉ノ上地内

新規	集水井戸	
	注水井戸	
	貯留水配水管	
	浸透樹	
	掘削土壌仮置場	
改造	既設揚水井戸	



CW-1 (第一帯水層対象)
口径 3.5 m
深さ 8.5 m
横ボーリング 35 ~ 70 m

CW-2 (第二帯水層対象)
口径 3.5 m
深さ 18 m
横ボーリング 30 ~ 60 m

CW-3 (第二帯水層対象)
口径 3.5 m
深さ 14 m
横ボーリング 50 ~ 60 m

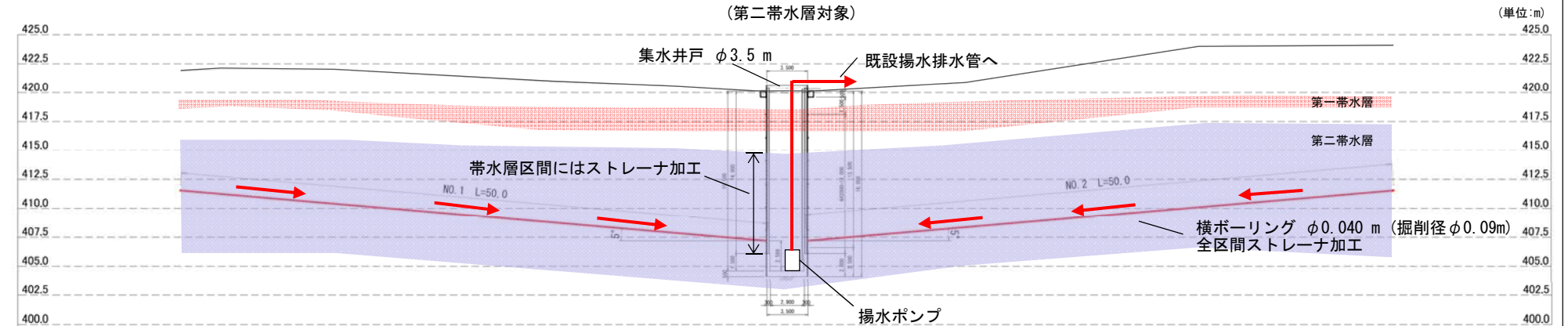
既設地下水浄化設備

揚水排水管(地下埋設)	揚水井戸(第一帯水層)	9箇所
地下排水管	揚水井戸(第二帯水層)	19箇所
貯留水配水管	浸透樹	33箇所
浸出水貯留池及び中央池等貯留水送水ポンプ	浸透樹(つぼ穴利用)	5箇所
	雨水貯留池	3箇所

集水井戸及び横ボーリング



集水井戸+横ボーリング構造図



※帯水層厚は想定。